



2024年3月期 第2四半期決算説明会資料

2023年 11月2日

喜びを創り喜びを提供する



<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



目次

- 2024年3月期 第2四半期決算概要 P 1～19
- 2024年3月期 通期業績予想 P 20～24
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 25～43
- ESG関連情報 P 44～46
- 株式の状況・株主還元 P 47～50
- 参考情報 P 51～60
- 熱狂的ファンづくりの取り組み事例 P 61～66



2024年3月期 第2四半期決算概要

業績ハイライト

第2四半期累計(4-9月期)業績

売上・利益ともに4期ぶりに過去最高値を更新！

経常利益率は対前年同期比7.9ポイント増加の23.1%となり、収益力が大幅に向上

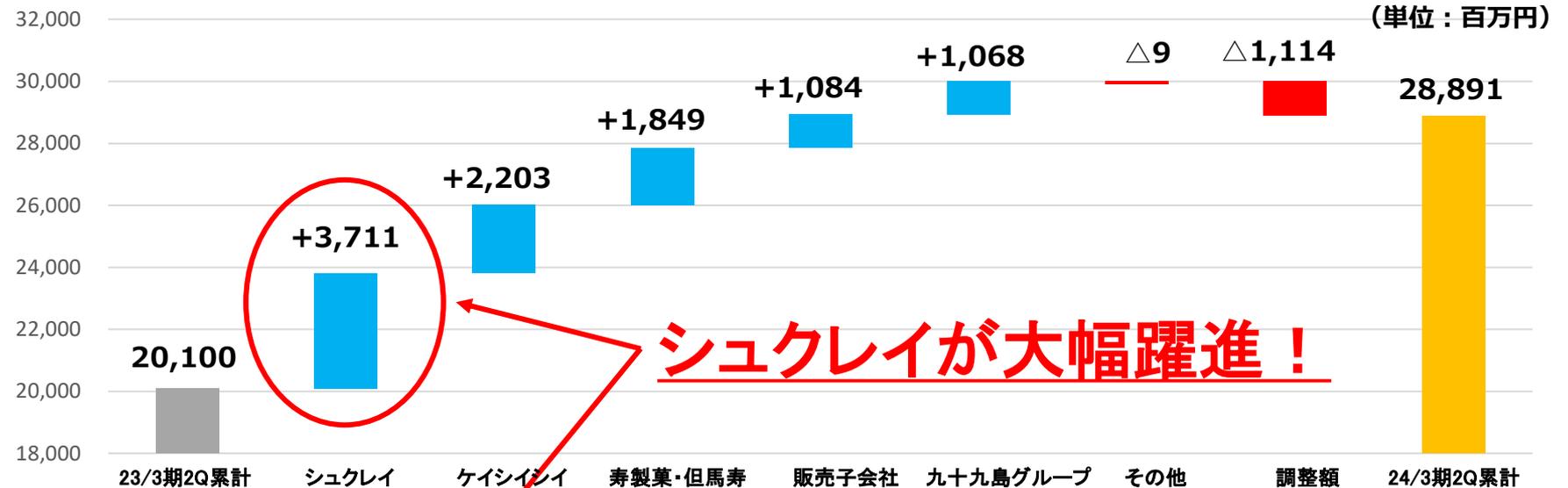
●行動制限の解除に伴い社会経済活動が一段と正常化に向かい、売上高は28,891百万円(前年同期比143.7%)、営業利益は6,622百万円(同 234.0%)、経常利益は6,668百万円(同 218.3%)、四半期純利益は4,453百万円(同 223.3%)となり、いずれも4期ぶりに過去最高値を更新。

●シュクレイの売上高は、11,713百万円(前年同期比146.4%)、営業利益は2,412百万円(同 197.2%)となり、引き続きグループ成長を牽引。

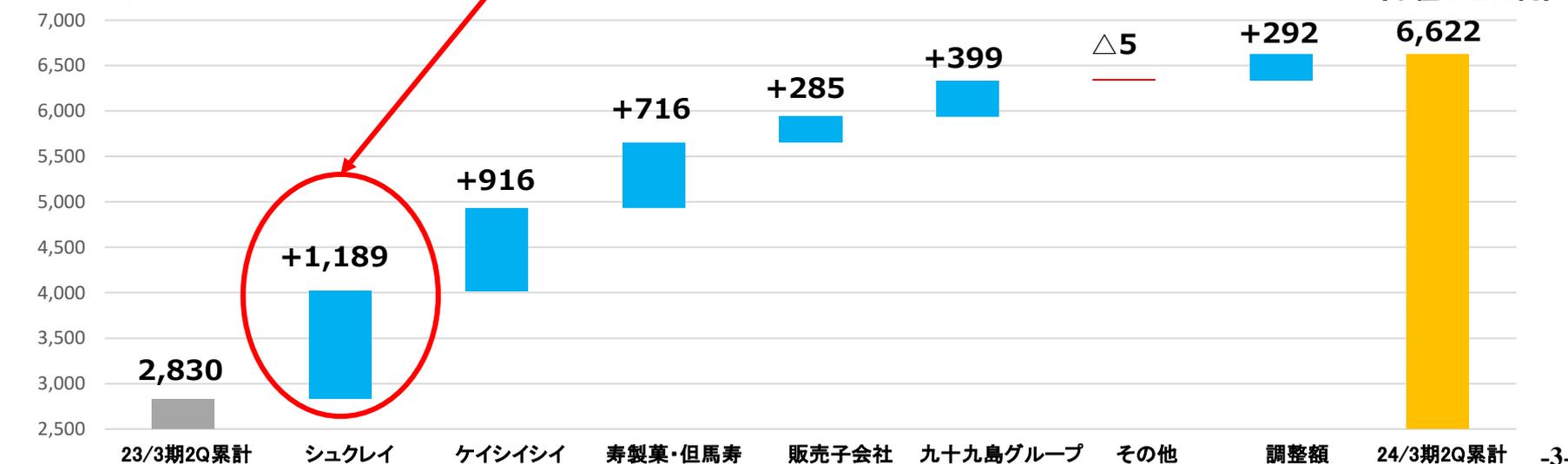
●インバウンド売上高(国際線ターミナル売店卸売上高)は、3,133百万円(20/3期比108.7%)となり、新型コロナ発生前水準を上回る。

売上高／営業利益増減分析(前年同期比)

(売上高)



(営業利益)



トピックス①シュクレイ 東京駅エリア積極展開

シュクレイによる新ブランド「THE DROS(ザ・ドロス)グランスタ東京店」のオープンをはじめとして、東京駅エリアの更なる積極展開を推進



2023年6月26日 新ブランド「THE DROS(ザ・ドロス)グランスタ東京店」OPEN



2023年6月19日リニューアルオープン
ザ・メイプルマニア グランスタ東京店



2023年6月15日 オープン
Mr.Maple グランスタ東京店

トピックス②好立地への積極出店を推進

「ザ・メープルマニア」が京王百貨店新宿本店の一等地へ出店、
「東京ミルクチーズ工場」がラゾーナ川崎プラザへ出店。



2023年5月25日「ザ・メープルマニア 京王百貨店新宿店」OPEN

2023年9月22日「東京ミルクチーズ工場 ラゾーナ川崎プラザ店」OPEN

ご参考(東京駅エリア店舗数)

東京駅エリアのグループ常設店舗数は、20/3期の3店舗から14店舗に拡大
(2023年9月末現在)

	ブランド名	運営会社	出店施設	OPEN日
1	(New)ザ・メイプルマニア	シュクレイ	グランスタ東京	23/6月 リニューアルオープン
2	東京ミルクチーズ工場	シュクレイ	グランスタ東京	22/4月 リニューアルオープン
3	ココリス	シュクレイ	グランスタ東京	20/8月 オープン
4	ナウオンチーズ♪	ケイシイシイ	グランスタ東京	20/8月 オープン
5	アイポリッシュ	九十九島グループ	グランスタ東京	22/4月 オープン
6	(New)ザ・ドロス	シュクレイ	グランスタ東京	23/6月 オープン
7	(New)ミスターメイプル	シュクレイ	グランスタ東京	23/6月 オープン
8	岡田謹製あんバター屋	ケイシイシイ	東京ギフトパレット	20/8月 オープン
9	ピスタ&トーキョー	ケイシイシイ	東京ギフトパレット	20/8月 オープン
10	洋菓子のフランセ	シュクレイ	東京ギフトパレット	20/8月 リニューアルオープン
11	ネコシェフ	シュクレイ	東京ギフトパレット	20/8月 オープン
12	いちごショップbyFRANÇAIS	シュクレイ	東京ギフトパレット	21/4月 オープン
13	バターバター	シュクレイ	東京ギフトパレット	21/6月 オープン
14	コートクール	シュクレイ	東京ギフトパレット	22/11月 オープン



ご参考(インバウンド売上)

昨年10月からの入国制限緩和により、主要国際線ターミナルの売店が段階的に再開。
当第2四半期のインバウンド売上は、新型コロナ発生前水準を上回る

【インバウンド売上高(国際線ターミナル売店卸売上高)】 (注)2024年3月期 通期は予想

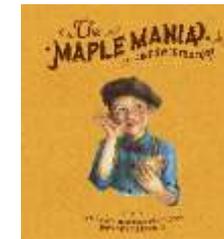
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2024年3月期	1,520	1,613			5,000
2023年3月期	86	167	640	1,085	1,978
2020年3月期	1,502	1,381	1,645	846	5,375



成田空港Fa-So-La TAX FREE AKIHABARA内に展開中の「小樽洋菓子舗LeTAO」「ザ・メープルマニア」

ご参考(海外売上)

海外売上 705百万円 前年同期比14.2%減収
 減収要因はシンガポールの在庫調整の影響によるもので
 当地域の現地売上は微減。



【海外売上高】

(百万円、%)	23年3月期 (2Q累計)	24年3月期 (2Q累計)	増減額	増減率
台湾(注)	295	269	△ 26	△ 8.9
韓国	63	48	△ 15	△ 23.2
シンガポール	232	91	△ 141	△ 60.9
中国	123	124	0	0.3
オーストラリア	54	98	44	82.6
その他	55	75	21	37.9
合計	821	705	△ 117	△ 14.2

(注)台湾は連結子会社。他の地域はFC展開。
 台湾は現地売上、FCは国内出荷売上+ロイヤルティ

東京ミルクチーズ工場 フィリピン MITSUKOSHI BCG店(2023年7月21日 グランドオープン)

2024年3月期 第2四半期(累計)業績(対前年同期)

**対前年同期比 売上高43.7%増、経常利益118.3%増
工場稼働率の上昇及び販売の効率化などにより収益性が向上**

	前第2四半期累計 (22年4月～9月)		当第2四半期累計 (23年4月～9月)		対前年同期		(参考)前期 (22年4月～23年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
(百万円、%)								
売上高	20,100	—	28,891	—	8,791	43.7	50,155	—
売上総利益	11,771	58.6	17,732	61.4	5,961	50.6	30,107	60.0
販売管理費	8,941	44.5	11,110	38.5	2,169	24.3	20,155	40.2
営業利益	2,830	14.1	6,622	22.9	3,792	134.0	9,952	19.8
経常利益	3,055	15.2	6,668	23.1	3,613	118.3	10,296	20.5
四半期(当期)純利益 (注1)	1,994	9.9	4,453	15.4	2,459	123.3	7,018	14.0
EPS(円) (注2)	12.82		28.62		15.80	—	45.10	

(注1) 四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(注2) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。
EPS数値につきましては、2023年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

売上高(販売チャネル別)

人流回復を追い風に、インバウンド需要の回復も加わり
国内卸売が大幅増収

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	20,100	—	28,891	—	8,791	43.7
国内卸売	6,985	34.8	12,697	43.9	5,712	81.8
国内小売	9,989	49.7	13,323	46.1	3,333	33.4
通信販売	2,302	11.5	2,164	7.5	△ 137	△ 6.0
その他	2	0.0	2	0.0	0	11.7
国内計	19,279	95.9	28,187	97.6	8,908	46.2
海外卸売	526	2.6	436	1.5	△ 90	△ 17.2
海外小売	295	1.5	269	0.9	△ 26	△ 8.9
海外計	821	4.1	705	2.4	△ 117	△ 14.2

(注)国内卸売は、主に小売店向け卸(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど/ 国内小売は、主に直営店舗、催事など
海外卸売は、海外FCに対する国内出荷売上+ロイヤルティ/ 海外小売は、台湾子会社の売上/その他は損害保険代理業

セグメント別の業績(対前年同期)

シュクレイを筆頭に、主要セグメント軒並み増収増益

(百万円、%)	売上高				営業利益(△損失)		
	前第2Q累計	当第2Q累計	増減額	増減率	前第2Q累計	当第2Q累計	増減額
シュクレイ	8,002	11,713	3,711	46.4	1,223	2,412	1,189
ケイセイセイ	5,536	7,738	2,203	39.8	451	1,367	916
寿製菓・但馬寿	4,390	6,239	1,849	42.1	628	1,344	716
販売子会社	2,289	3,373	1,084	47.4	132	417	285
九十九島グループ	1,847	2,915	1,068	57.8	△ 1	397	399
その他(注)	326	317	△ 9	△ 2.8	36	31	△ 5
セグメント計	22,390	32,296	9,905	44.2	2,469	5,969	3,500
調整額	△ 2,290	△ 3,404	△ 1,114	48.6	362	654	292
合計	20,100	28,891	8,791	43.7	2,830	6,622	3,792

(注)「その他」には、損害保険代理事業、健康食品事業、海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

セグメント別業績の補足説明

<p>シュクレイ</p>	<p>シュクレイは、更なるブランド価値の向上を図るため、売場ディスプレイの改良、限定商品の発売や超試食販売による販売力の強化などに注力いたしました。また、成田空港など主要国際線ターミナルを中心にインバウンド対策の強化、大型催事出店の展開強化などにも取り組みました。新規出店では、5月に「ザ・メープルマニア」京王新宿店を、6月にはJR東京駅「グランスタ東京」に新ブランド「ザ・ドロス」を出店するなど、計4店の出店を行いました。</p>
<p>ケイシイシイ</p>	<p>25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」の更なるブランド価値の向上を図るため、「ルタオ本店」及び「ルタオパトス」の売場改装を行い、商品面では、「ドゥーブルフロマージュ」、「小樽色内通りフロマージュ」などの主力商品を軸に、「まああるガトーノワール」や25周年記念菓「フロマネージュ」などの新商品を加えて、各販売チャネルでの販売強化に注力いたしました。また、インバウンド対策では、主要国際線ターミナルを中心に、販売体制を早期に整え、販売力の向上に努めました。道外店舗では、「Now on Cheese ♪ (ナウオンチーズ)」などの首都圏ブランドの育成に注力いたしました。</p>
<p>寿製菓・但馬寿</p>	<p>土産需要の回復を見据え、代理店及びグループ会社との連携強化を図り、売場改善提案などによる主力商品対策や新商品開発に注力いたしました。また、山陰地区では、12年に一度の「うさぎ年」に発売55周年を迎えた山陰銘菓「因幡の白うさぎ」の販売強化や築城30周年を迎えた「お菓子の壽城」ではイベント開催などによる集客力の強化に努めました。</p>
<p>販売子会社</p>	<p>交通拠点チャネルを重点に、土産需要の回復を見据え、主力商品及び新商品による売場面積の拡大に注力いたしました。エリア別では、関西地区は、主力商品「フレンチトーストラングドシャ」のリニューアルや季節限定商品「大阪レモンスカッシュわたび餅」による販売強化、福岡地区では「博多まっかな苺」ブランド展開強化や新商品「博多万能ねぎ天ぷらえびせんべい」の拡販などに取り組みました。</p>
<p>九十九島グループ</p>	<p>製造小売型経営への変革を図るため、当社グループのシナジーを最大限活用し、製品の改廃、組織改革、製造ラインの見直しなどの経営改革を推進いたしました。10周年を迎えたフレンチトースト専門店「アイポリッシュ」では、グランスタ東京のリニューアルオープンに「フレンチトーストプディング」などの東京駅限定商品を発売するなど、更なるブランド認知度の向上に取り組みました。</p>

売上原価・売上総利益

原材料価格の高騰が続く中、工場稼働率の向上及び生産の効率化などにより売上総利益率は前年同期比2.8ポイント増加

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	20,100	—	28,891	—	8,791	43.7	50,155	—
材料費	4,471	22.2	7,044	24.4	2,573	57.6	10,754	21.4
労務費	2,071	10.3	2,612	9.0	542	26.2	4,454	8.9
製造経費	1,078	5.4	1,313	4.5	235	21.8	2,380	4.7
製造原価計	7,619	37.9	10,969	38.0	3,350	44.0	17,587	35.1
その他	710	3.5	190	0.7	△ 519	△ 73.2	2,461	4.9
売上原価合計	8,329	41.4	11,159	38.6	2,830	34.0	20,049	40.0
売上総利益	11,771	58.6	17,732	61.4	5,961	50.6	30,107	60.0

販売管理費・営業利益

売上成長及び販売の効率化などにより、販売管理費率は
前年同期比6.0ポイント減少

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	11,771	58.6	17,732	61.4	5,961	50.6	30,107	60.0
人件費	3,530	17.6	4,186	14.5	656	18.6	7,432	14.8
販売促進費	1,232	6.1	1,679	5.8	447	36.3	3,012	6.0
運賃	670	3.3	972	3.4	302	45.1	1,580	3.1
広告宣伝費	173	0.9	163	0.6	△ 10	△ 5.7	395	0.8
地代家賃	620	3.1	681	2.4	60	9.7	1,314	2.6
減価償却費	195	1.0	202	0.7	7	3.5	407	0.8
旅費交通費	154	0.8	211	0.7	57	36.8	373	0.7
支払手数料	1,623	8.1	2,176	7.5	553	34.1	3,969	7.9
その他	743	3.7	840	2.9	97	13.0	1,672	3.3
販売管理費	8,941	44.5	11,110	38.5	2,169	24.3	20,155	40.2
営業利益	2,830	14.1	6,622	22.9	3,792	134.0	9,952	19.8

公表数字に対する達成率

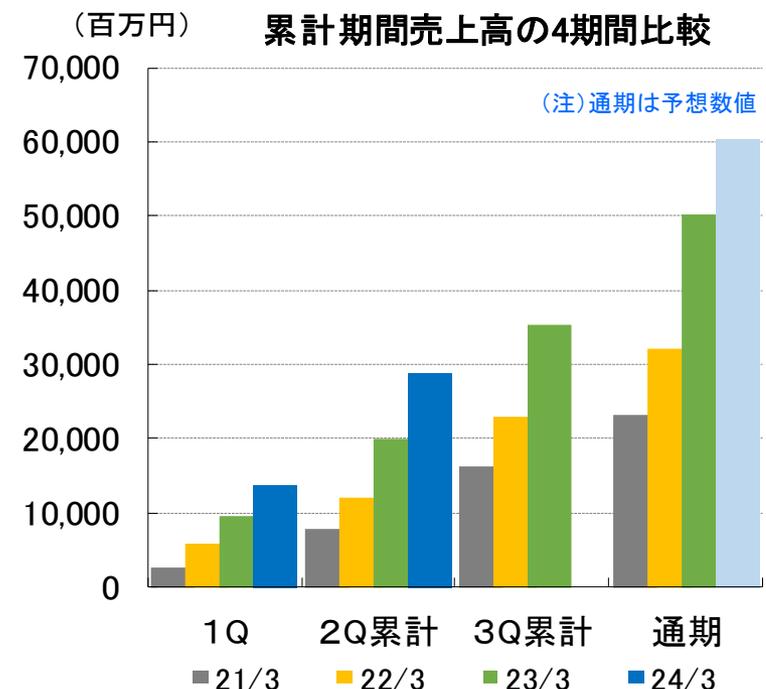
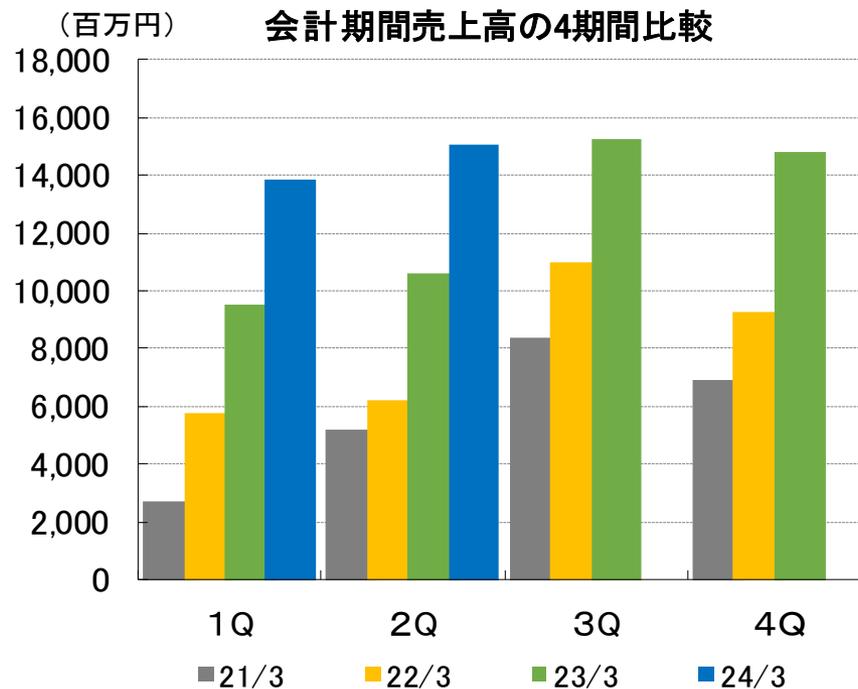
事業施策の積極展開が奏功し、売上面・利益面ともに 期初予想を上回る

(百万円、%)	期初予想※		当第2四半期累計		対期初予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	24,300	—	28,891	—	4,591	118.9
売上総利益	14,590	60.0	17,732	61.4	3,142	121.5
販売管理費	10,490	43.2	11,110	38.5	620	105.9
営業利益	4,100	16.9	6,622	22.9	2,522	161.5
経常利益	4,125	17.0	6,668	23.1	2,543	161.6
四半期純利益	2,765	11.4	4,453	15.4	1,688	161.0

※ 期初予想は、2023年5月15日付公表数字

四半期業績の推移(売上高)

(2Q会計) 対前年同期比42.1%増



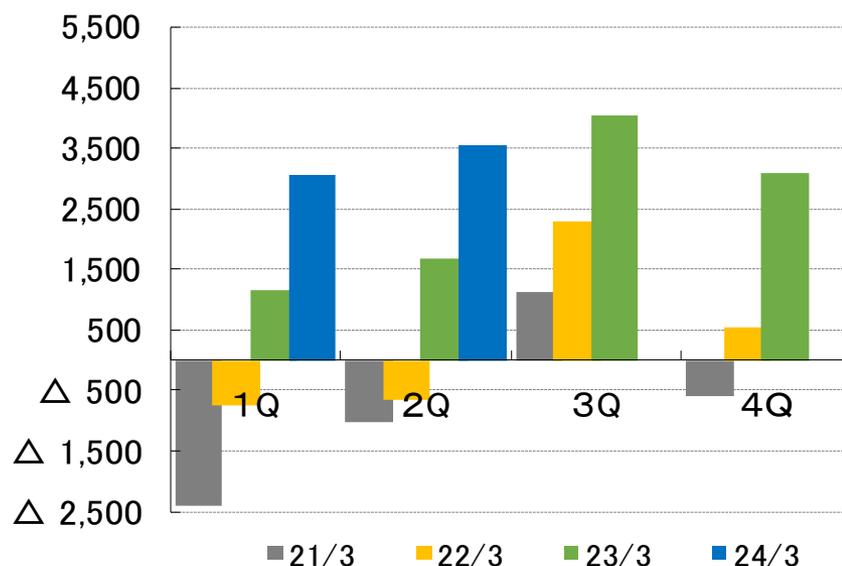
(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
21/3	2,716	5,189	8,402	6,898	2,716	7,905	16,306	23,205
22/3	5,758	6,200	10,963	9,270	5,758	11,959	22,921	32,192
23/3	9,515	10,585	15,270	14,785	9,515	20,100	35,370	50,155
24/3	13,853	15,038	-	-	13,853	28,891	-	60,461
対前年	145.6%	142.1%	-	-	145.6%	143.7%	-	-

(注) 通期は予想数値

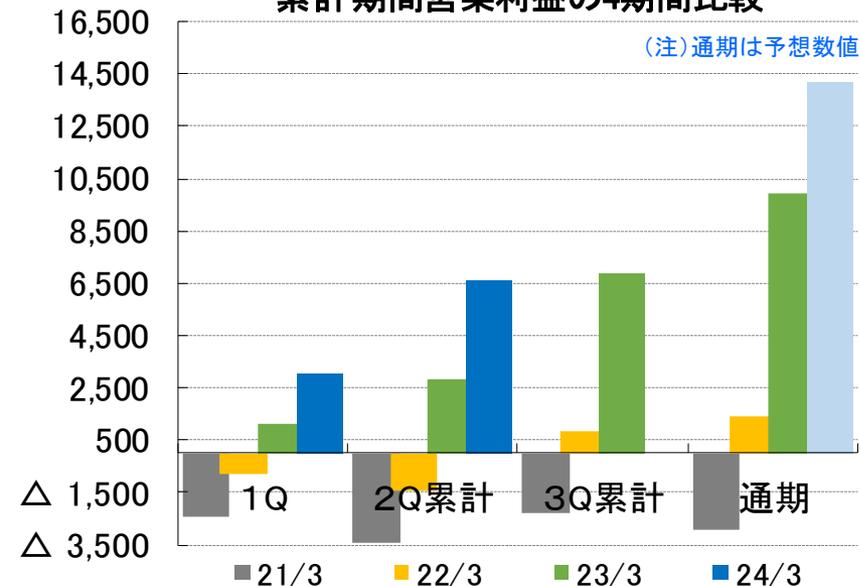
四半期業績の推移(営業利益)

(2Q会計) 対前年同期比112.1%増

(百万円) 会計期間営業利益の4期間比較



(百万円) 累計期間営業利益の4期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
21/3	△ 2,409	△ 1,012	1,114	△ 583	△ 2,409	△ 3,421	△ 2,307	△ 2,890
22/3	△ 759	△ 659	2,279	542	△ 759	△ 1,418	860	1,403
23/3	1,150	1,680	4,026	3,095	1,150	2,830	6,856	9,952
24/3	3,059	3,564			3,059	6,622		14,192
対前年	265.9%	212.1%			265.9%	234.0%		

(注) 通期は予想数値

貸借対照表

流動資産の増加は、主に棚卸資産の増加によるもの

(百万円、%)	22年3月期		23年3月期		24年3月期(2Q)		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	15,804	57.5	25,741	69.7	26,919	70.1	1,178	4.6
固定資産	11,666	42.5	11,212	30.3	11,495	29.9	282	2.5
資産合計	27,470	100.0	36,953	100.0	38,414	100.0	1,460	4.0
流動負債	4,620	16.8	8,095	21.9	7,204	18.8	△ 892	△ 11.0
固定負債	2,493	9.1	2,340	6.3	2,386	6.2	46	1.9
負債合計	7,114	25.9	10,436	28.2	9,590	25.0	△ 846	△ 8.1
純資産	20,357	74.1	26,518	71.8	28,824	75.0	2,306	8.7
負債純資産合計	27,470	100.0	36,953	100.0	38,414	100.0	1,460	4.0
BPS(円)(注)	130.83		170.43		185.25		14.82	8.7
設備投資額	403		573		721		148	25.9
減価償却費	1,220		1,137		540		△ 597	△ 52.5

(注) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。
BPS数値につきましては、2022年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ残高は、前年同期に対し5,498百万円増加の16,242百万円

(百万円、%)	22年3月期	23年3月期		24年3月期	対前年同期	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	増減率
営業活動CF	4,293	2,180	9,086	3,067	887	40.7
投資活動CF	△ 527	△ 302	△ 1,616	△ 737	△ 435	143.7
フリーCF	3,767	1,878	7,470	2,331	453	24.1
財務活動CF	△ 1,176	△ 1,055	△ 1,223	△ 2,261	△ 1,206	114.2
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	9	3	10	1	11.9
cash増減	2,603	831	6,250	79	△ 752	-
cash期首	7,309	9,913	9,913	16,162	6,250	63.0
cash期末	9,913	10,744	16,162	16,242	5,498	51.2
有利子負債	726	606	440	360	△ 246	△ 40.6



2024年3月期 通期業績予想

2024年3月期 通期業績予想の補足説明

● 予想スタンス

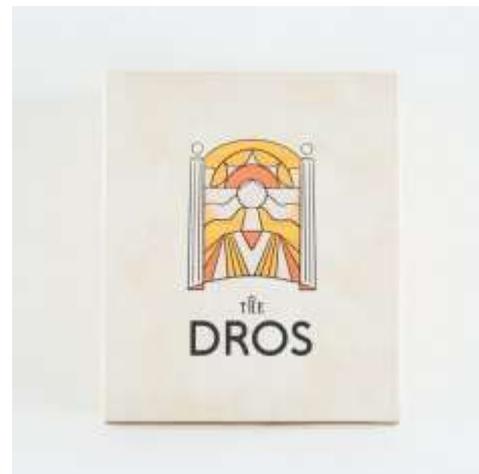
当第2四半期累計業績は、期初予想を上回ったものの、今後の事業環境は、物価上昇などにより消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されるため、通期の業績予想は、下期予想を据え置き、上期の上振れ分を上乗せして修正。

● 株式分割の実施

本年10月1日付けで普通株式1株に対して5株の割合で株式分割を実施。これに伴い、1株当たり数値の記載は、当該株式分割を考慮して算定している。

● 配当予想の修正

株主還元の一層の充実を図り、また、直近の業績動向及び通期の業績予想を鑑みて、1株当たりの期末配当金予想は前回予想の14円00銭から25円00銭に上方修正。



2024年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高前期比20.5%増、営業利益同42.6%増

(百万円、%)	23年3月期		24年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	50,155	-	60,461	-	10,306	20.5
売上総利益	30,107	60.0	37,112	61.4	7,005	23.3
販売管理費	20,155	40.2	22,920	37.9	2,765	13.7
営業利益	9,952	19.8	14,192	23.5	4,240	42.6
経常利益	10,296	20.5	14,263	23.6	3,967	38.5
当期純利益	7,018	14.0	9,560	15.8	2,542	36.2
EPS(円)(注)	45.10		61.44		16.3	-
1株当たり配当金(円)(注)	14.00		25.00		11.0	-
設備投資	573		2,000		1,427	249.1
減価償却費	1,137		1,250		113	9.9

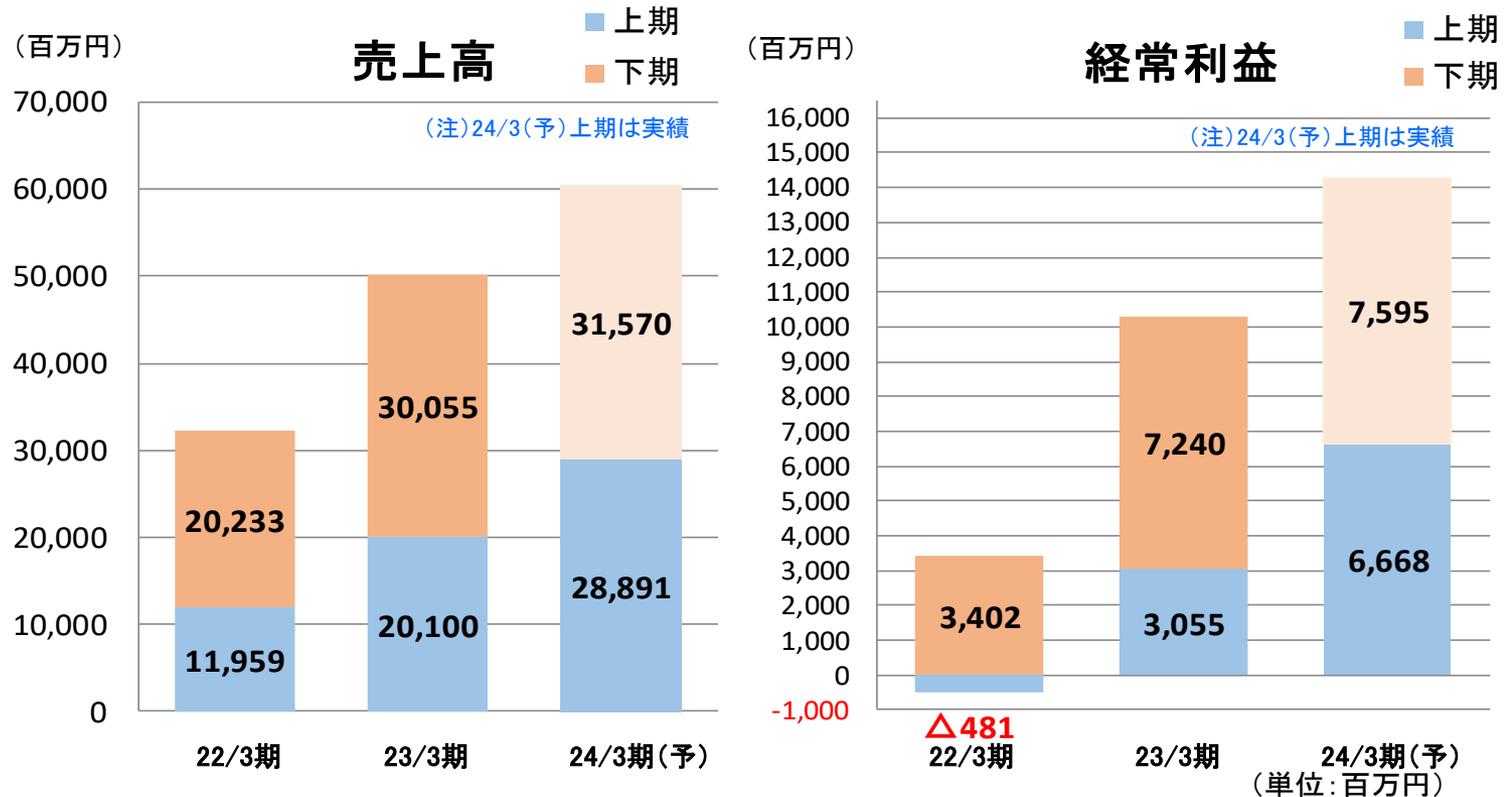
(注) EPS数値及び1株当たり配当金は、2023年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

2024年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイを筆頭に、主要セグメントで増収・増益を目指す！

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	23/3期	24/3期予	増減額	増減率	23/3期	24/3期予	増減額
シュクレイ	20,699	25,736	5,037	24.3	4,144	5,750	1,606
ケイシイシイ	14,114	16,580	2,466	17.5	2,113	3,097	984
寿製菓・但馬寿	10,042	11,985	1,943	19.3	1,694	2,447	753
販売子会社	5,354	6,463	1,109	20.7	472	768	296
九十九島グループ	4,628	5,701	1,073	23.2	366	722	357
その他	734	710	△ 24	△ 3.3	97	96	△ 2
セグメント計	55,570	67,175	11,605	20.9	8,887	12,881	3,994
調整額	△ 5,415	△ 6,714	△ 1,299	24.0	1,065	1,311	246
合計	50,155	60,461	10,306	20.5	9,952	14,192	4,240

2024年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)



	売上高						経常利益					
	22/3期	構成比	23/3期	構成比	24/3期(予)	構成比	22/3期	構成比	23/3期	構成比	24/3期(予)	構成比
上期	11,959	37.1%	20,100	40.1%	28,891	47.8%	△ 481	-	3,055	29.7%	6,668	46.8%
下期	20,233	62.9%	30,055	59.9%	31,570	52.2%	3,402	-	7,240	70.3%	7,595	53.2%
通期	32,192	100.0%	50,155	100.0%	60,461	100.0%	2,921	-	10,296	100.0%	14,263	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

当社グループの経営理念は、創業者であります故河越庄市をはじめ、諸先輩方が幾多の試練を乗り越えてこられた中、生まれました。利潤の追求のみが企業の目的ではなく、会社が未来永劫発展し続けるためには、常に「人様に喜んでいただく」ことを最優先に考え、お客様に喜んでいただける商品を創り、お客様に喜ばれるサービスを提供し続け、地域社会への貢献、共存・共栄こそが、会社の存在意義であり、当社グループに与えられた使命であります。

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

当社グループの全従業員は、経営理念の具現化に向け、ひとつのお菓子、ひとりのお客様への接客で、一生お付き合いができる熱狂的なファンを今日一人創ることに徹する「熱狂的ファン創り」を基本ポリシーとしております。

経営理念をベースとした「**全員参画経営**」の実践

当社グループは、経営理念を拠り所に、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画経営**」の実践により、活力ある魅力あふれる企業集団を創り、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

《経営理念手帳「こづち」について》

当社グループは、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、全従業員の経営理念浸透と企業倫理の徹底に努めております。経営理念手帳「こづち」は、各職場単位で行う朝礼や研修、勉強会などで活用し、また、経営理念の実践の成果を全従業員が共有し、さらなる大きな成果を生み出していくことを目的に「こづち発表全国大会」を年1回開催しております。



2023年1月「こづち発表全国大会」を開催

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- **「高い価値の創造」**をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「地域性(Local)」と「専門店性(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアムギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2023年経営スローガン

超絶ド成長元年！

消費活動が正常化に向かっていく中、当社グループは、超絶な成長軌道に乗せるべく、グループの総力を結集し、美味しさをより一層追求したプレミアムギフトスイーツに特化し、超絶なスピードとパワーで事業施策を遂行する。

重点施策

1.ド成長重点対策の推進

ド成長重点対策

- ①ド成長の商品力、販売力、売場力の超絶シンカ
- ②ド成長の人財採用と共育
- ③ド成長のブランド開発と売場獲得
- ④ド成長のインバウンド復活準備と海外成功モデルの構築
- ⑤ド成長の生産体制、ロジスティックの超絶シンカ

2.「全員参画による超現場主義」経営の推進

経営理念の徹底実践をベースとした「全員参画による超現場主義」経営を推進し、人財力及び組織力の向上を図る。

今後の経営方針

中長期の目標

長期目標

売上高経常利益率 30%

「全員参画による超現場主義」経営を推進し、プレミアムギフトスイーツの更なる「高い価値の創造」に注力していく

中期目標

① シュクレイ売上高 350億円

(百万円)	20年3月期(実績)	21年3月期(実績)	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(予想)	26年3月期(目標)
売上高	16,199	7,627	11,958	20,699	25,736	35,000

② インバウンド売上高 100億円

(百万円)	20年3月期(実績)	21年3月期(実績)	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(予想)	26年3月期(目標)
売上高	5,375	98	125	1,978	5,000	10,000

※インバウンド売上高は、国際線ターミナル売店卸売上高となります。

セグメント別概況

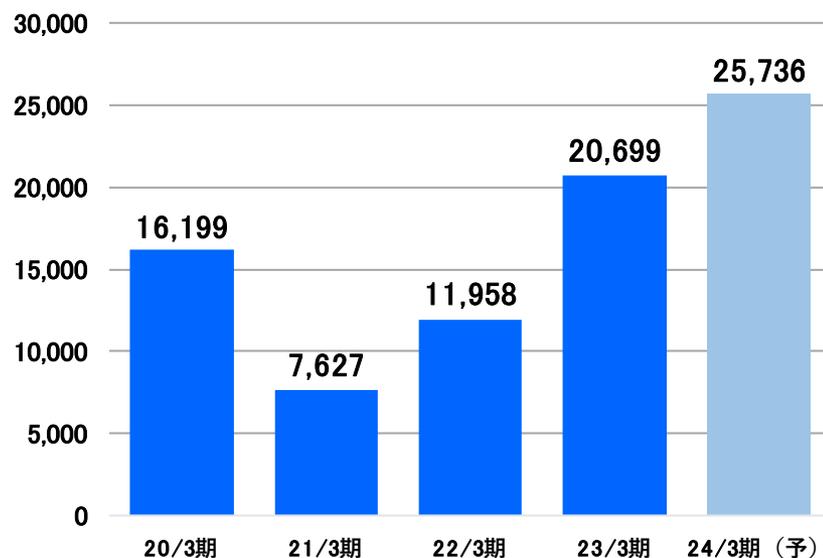


- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- くじゅうくしま 九十九島グループ
- その他

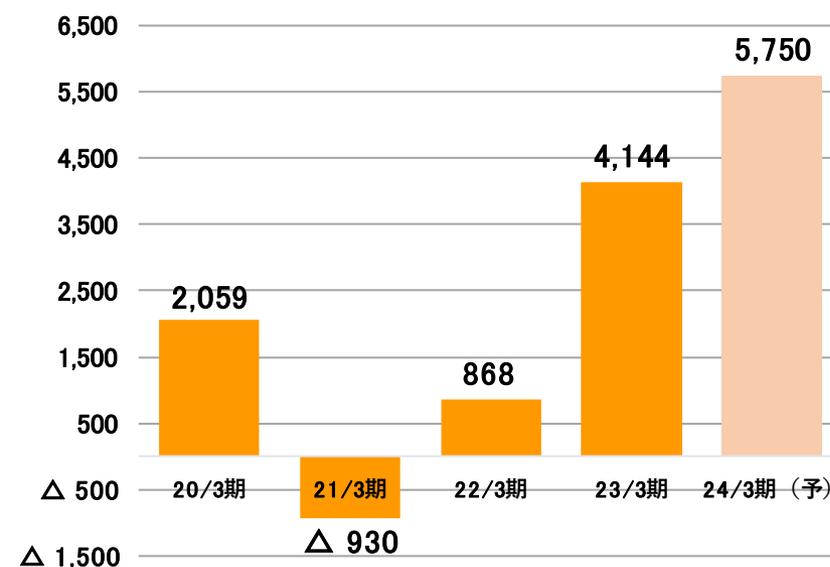
《シュクレイ》

24/3期予想:売上高 **25,736**百万円(前期比+24.3%)営業利益 **5,750**百万円(同+38.8%)

売上高



営業利益



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	16,199	7,627	11,958	20,699	8,741	73.1	25,736	5,038	24.3
売上総利益	9,893	4,198	7,271	13,160	5,890	81.0	16,495	3,335	25.3
粗利率	61.1	55.0	60.8	63.6	2.8	-	64.1	0.5	-
販売管理費	7,834	5,128	6,402	9,016	2,614	40.8	10,744	1,728	19.2
営業利益	2,059	Δ 930	868	4,144	3,276	377.2	5,750	1,606	38.8

《シュクレイ》



現場力の強化により、更なるブランド価値の向上を図り、
2026年3月期 売上高350億円突破に向け、成長を加速させる



クッキー(ゴルゴンゾーラ&アーモンド)

THE DROS(ザ・ドロス)グランスタ東京店
2023年6月26日オープン

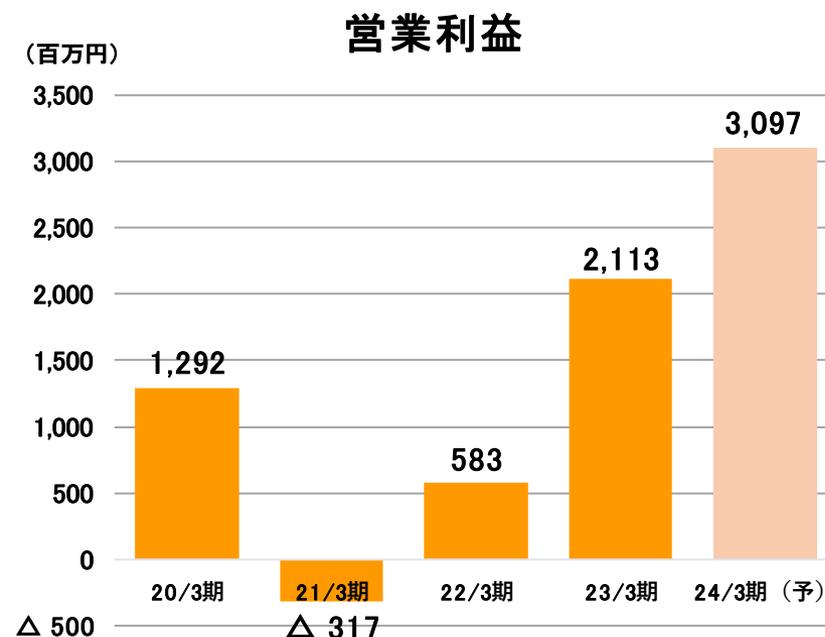
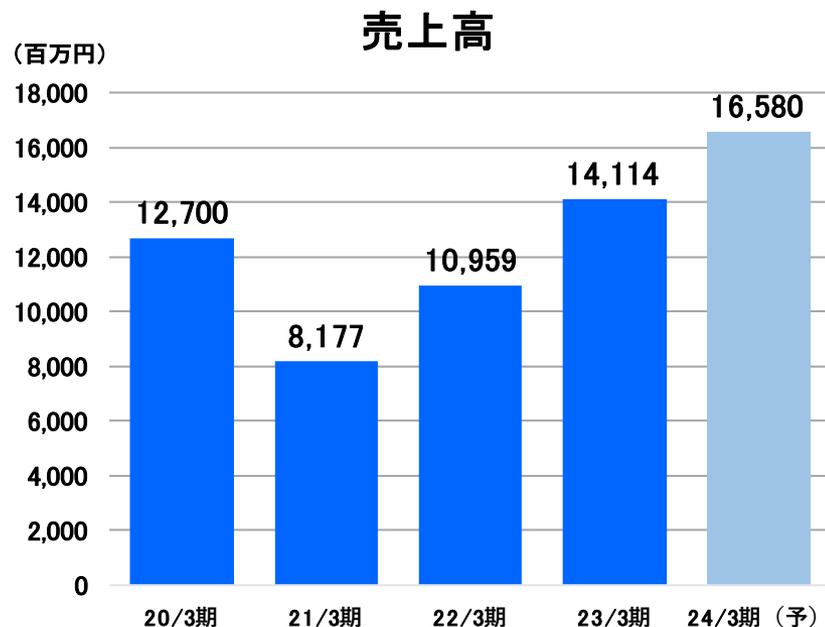


バニラ&マスカルポーネクッキー

東京ミルクチーズ工場 季節限定商品

《ケイシイシイ》

24/3期予想:売上高 **16,580**百万円(前期比**+17.5%**)営業利益 **3,097**百万円(同**+46.5%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	12,700	8,177	10,959	14,114	3,155	28.8	16,580	2,467	17.5
売上総利益	7,758	4,806	5,908	8,149	2,241	37.9	9,846	1,697	20.8
粗利率	61.1	58.8	53.9	57.7	3.8	-	59.4	1.6	-
販売管理費	6,466	5,123	5,325	6,036	710	13.3	6,749	714	11.8
営業利益	1,292	△ 317	583	2,113	1,531	262.7	3,097	984	46.5



《ケイシイシイ》

25周年を迎えた小樽洋菓子舗LeTAOの更なるブランド価値の向上及び「PISTA&TOKYO」、「Now on Cheese♪」、「岡田謹製あんバター屋」などの首都圏ブランドの育成に注力



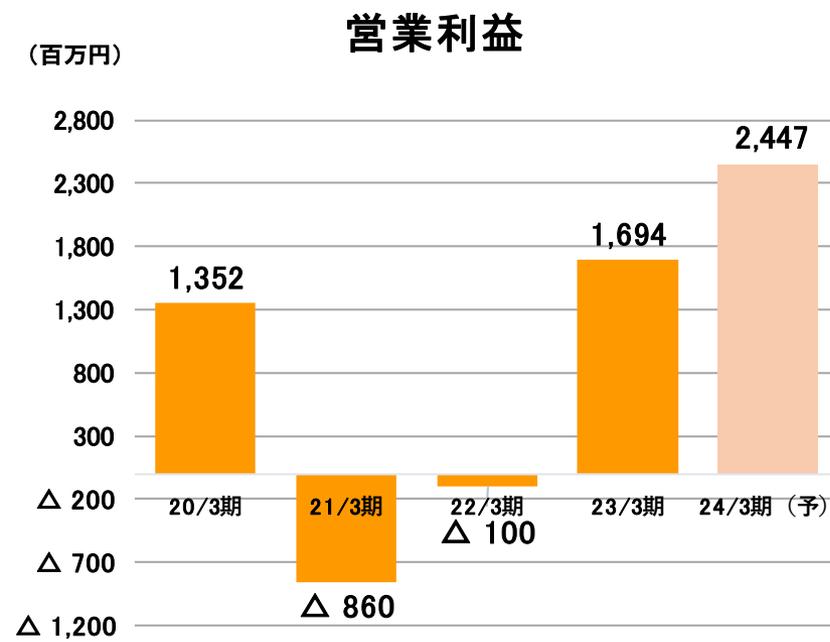
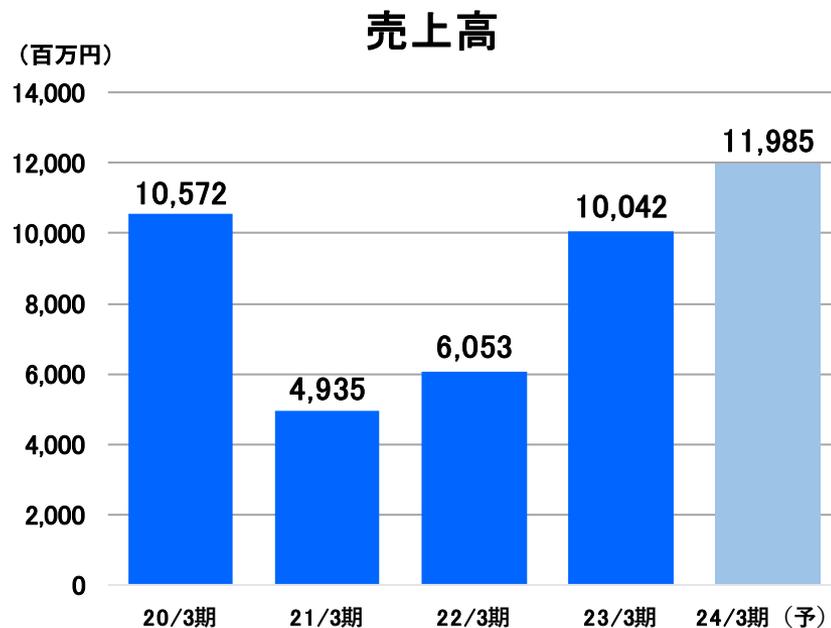
2023年6月26日発売
小樽洋菓子舗ルタオ25周年記念菓「フロマネージュ」



主力商品ドゥーブルフロマージュ

《寿製菓・但馬寿》

24/3期予想:売上高 **11,985**百万円(前期比**+19.4%**)営業利益 **2,447**百万円(前期比**+44.4%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,572	4,935	6,053	10,042	3,989	65.9	11,985	1,943	19.4
売上総利益	4,199	969	1,774	3,953	2,179	122.8	4,903	951	24.1
粗利率	39.7	19.6	29.3	39.4	10.1	-	40.9	1.6	-
販売管理費	2,847	1,829	1,874	2,258	384	20.5	2,456	198	8.8
営業利益	1,352	△ 860	△ 100	1,694	1,795	-	2,447	753	44.4

《寿製菓・但馬寿》



主力商品の育成及び新商品開発の推進、土産需要の復活を見据え代理店との連携強化を図る



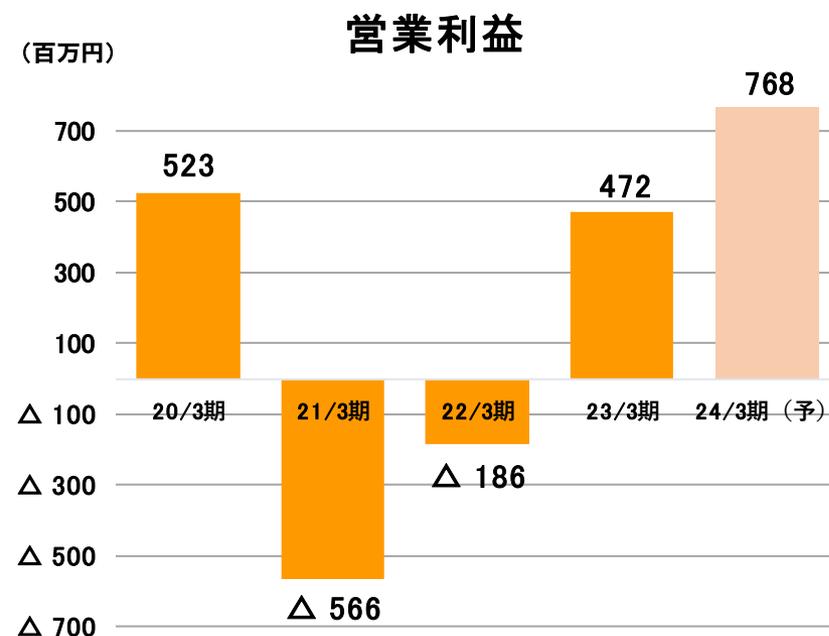
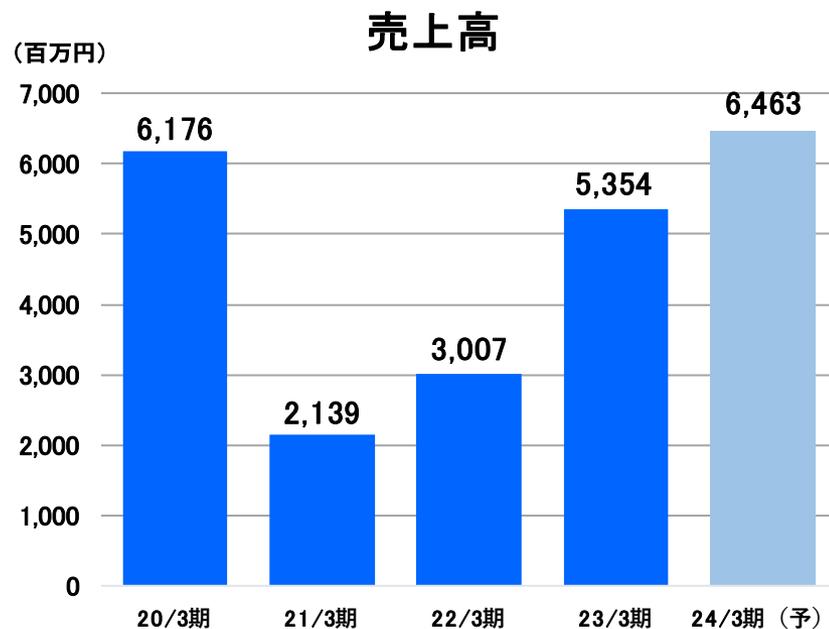
因幡の白うさぎ 55周年記念パッケージ
オリジナルてぬぐい付



55周年記念パッケージ
因幡の白うさぎ9個入
=オリジナルてぬぐい付=

《販売子会社》

24/3期予想:売上高 **6,463**百万円(前期比**+20.7%**)営業利益 **768**百万円(前期比**+62.8%**)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	6,176	2,139	3,007	5,354	2,347	78.1	6,463	1,109	20.7
売上総利益	2,224	625	1,098	2,013	915	83.3	2,426	413	20.5
粗利率	36.0	29.2	36.5	37.6	1.1	-	37.5	Δ 0.1	-
販売管理費	1,700	1,191	1,284	1,541	257	20.0	1,658	117	7.6
営業利益	523	Δ 566	Δ 186	472	658	-	768	296	62.8

《販売子会社》

主要交通拠点チャネルを中心に土産需要の復活を見据えた新商品での新売場獲得、主力商品での売場面積拡大に注力



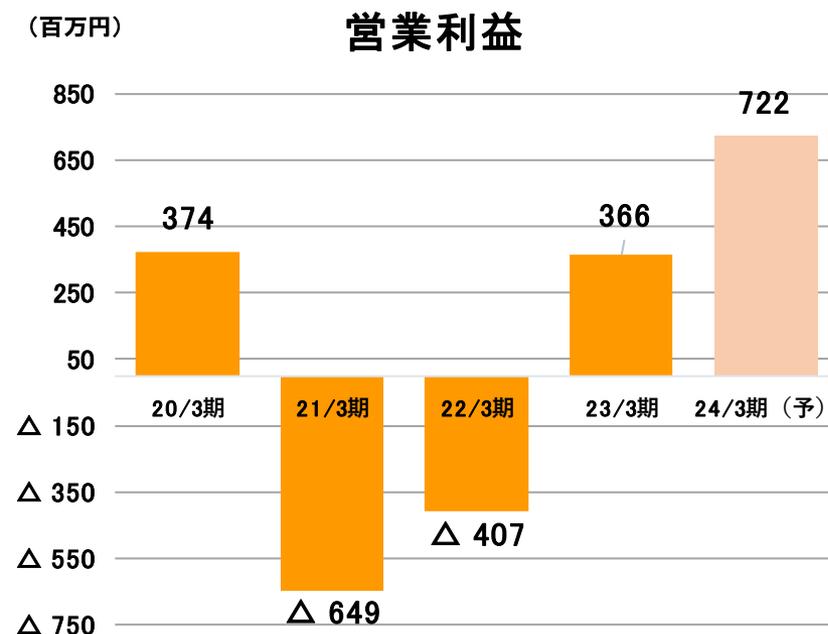
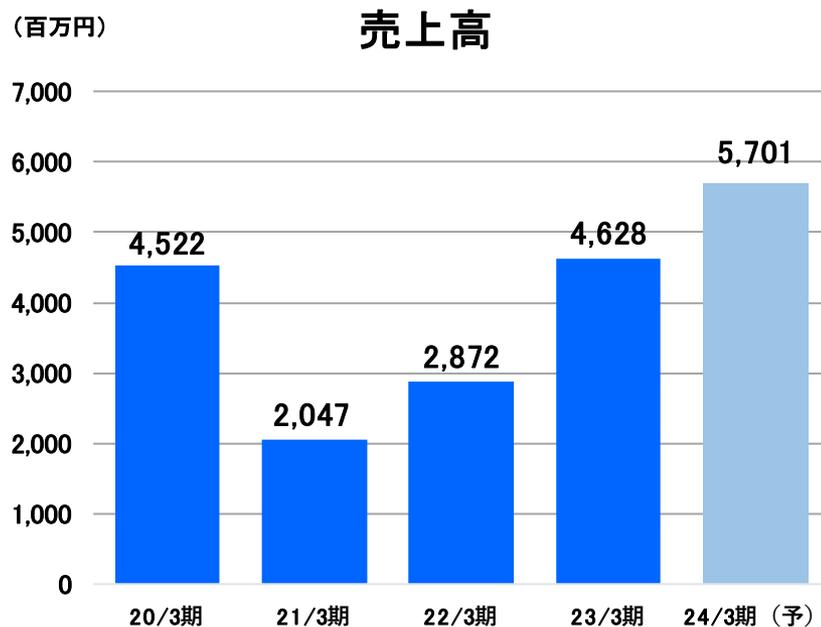
花福堂「博多万能ねぎ天ぷらえびせんべい」



寿香寿庵 季節限定商品
大阪レモンスカッシュわらび餅

くじゅうくしま 《九十九島グループ》

24/3期予想:売上高 **5,701**百万円(前期比+23.2%)営業利益 **722**百万円(前期比+97.6%)

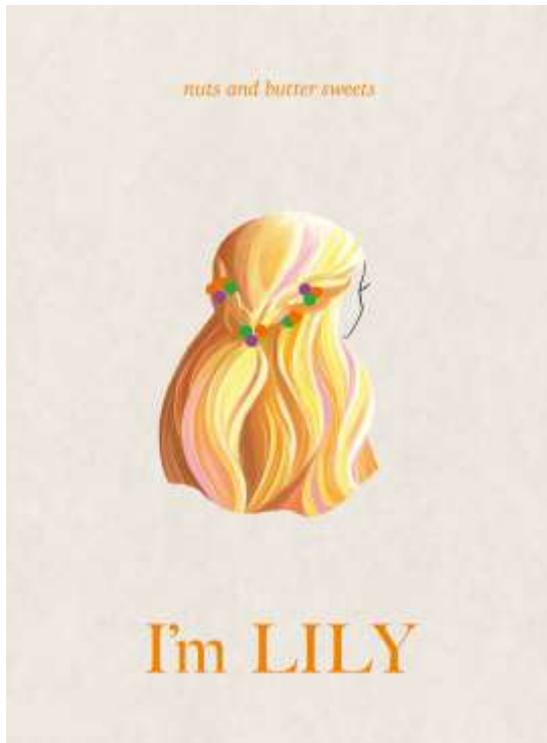


(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,522	2,047	2,872	4,628	1,756	61.1	5,701	1,073	23.2
売上総利益	2,127	650	1,241	2,427	1,186	95.5	3,035	608	25.1
粗利率	47.0	31.8	43.2	52.4	9.2	-	53.2	0.8	-
販売管理費	1,753	1,300	1,648	2,061	414	25.1	2,313	252	12.2
営業利益	374	Δ 649	Δ 407	366	772	-	722	357	97.6

くじゅうくしま
《九十九島グループ》

nuts and butter sweets
I'm LILY
HAKATA

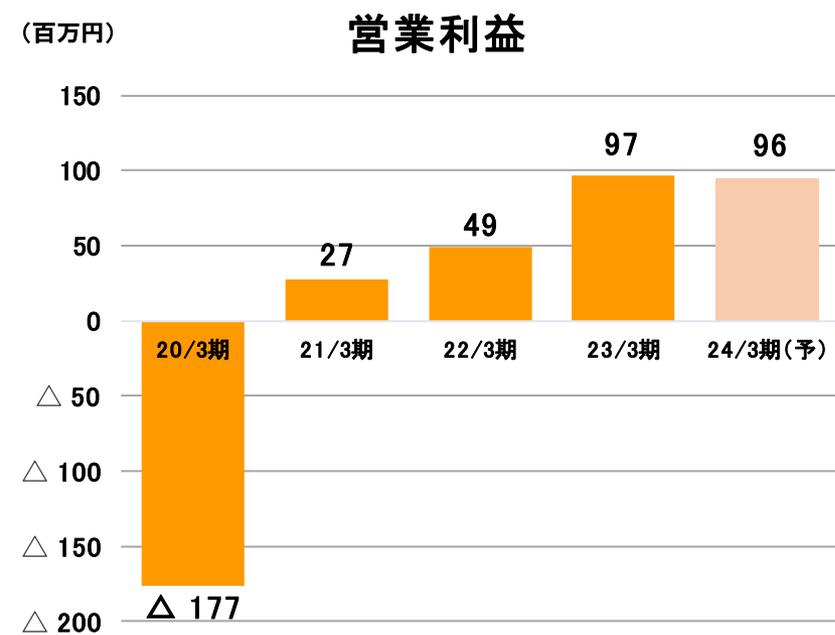
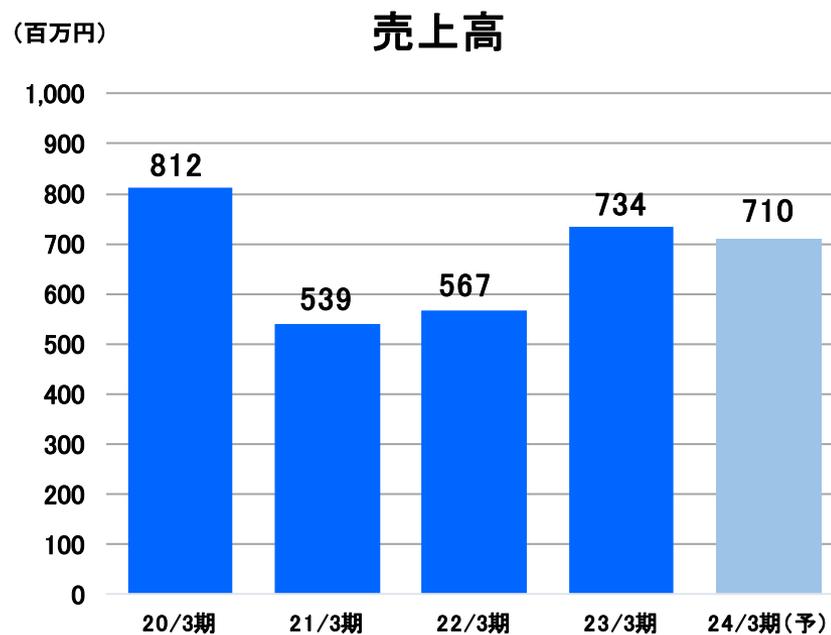
グループのシナジーを最大限に活用し、組織改革を断行、現場中心の製造小売型経営
に変革し成長を目指す



新ブランド「I'm LILY(アイム リリー)」
10月6日JR博多駅構内『いっぴん西通り』にオープン

《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾)菓子事業>

24/3期予想:売上高 **710**百万円(前期比 $\Delta 3.3\%$)営業利益 **96**百万円(同 $\Delta 1.7\%$)



(百万円,%)	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	対前期		24/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	812	539	567	734	167	29.5	710	$\Delta 24$	$\Delta 3.3$
売上総利益	529	383	411	534	123	30.0	505	$\Delta 30$	$\Delta 5.5$
粗利率	65.1	71.1	72.5	72.8	0.3	-	71.1	$\Delta 1.7$	-
販売管理費	706	356	362	437	75	20.7	409	$\Delta 28$	$\Delta 6.4$
営業利益	$\Delta 177$	27	49	97	48	98.9	96	$\Delta 2$	$\Delta 1.7$

《その他》

純藍

台湾菓子事業



小樽洋菓子舗ルタオ台湾 松菸店



中秋節ギフト限定パッケージ

健康食品事業(純藍事業)



古来伝承素材「藍」を100%配合した健康茶『純藍茶』



ESG関連情報

ESG情報(サステナビリティ委員会の設置及びTCFD提言への賛同表明)

当社は、当社グループが様々な事業活動を推進していくうえで、持続可能な社会実現への貢献と中長期的な企業価値の向上が重要な経営課題であるとの認識のもと、サステナビリティにおける取組みを推進するため、2023年4月に「サステナビリティ委員会」を設置し、また、同月にはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明いたしました。当委員会の設置及びTCFD提言への賛同を機に、気候変動がもたらす事業へのリスクと機会について、分析と対応を一層強化し、関連情報の開示を推進していくとともに、2050年の脱炭素社会実現に貢献する取組みを進めてまいります。



寿スピリッツグループ
サステナビリティサイト

※TCFDの概要

TCFDとは、G20の要請を受け、金融安定理事会(FSB)により、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討する目的で設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」の略称です。TCFDが公表した提言では、企業等に対し、気候変動関連リスク及び機会に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の把握・開示が推奨されています。



こちらのQRコードでご覧いただけます

ESG情報(ケイセイシイ第1工場 FSSC22000認証取得)

ケイセイシイ第1工場が、2023年9月1日に当社グループの製造拠点として、ケイセイシイ第2工場、シュクレイ横浜工場・浜松工場につづいて、4拠点目となるFSSC22000認証を取得しました。お客様に喜ばれる安心安全な商品を提供するため、品質向上活動を継続してまいります。



ケイセイシイ第1工場外観

※FSSC 22000は、ISO 22000を追加要求事項で補強した食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。GFSI(Global Food Safety Initiative)によって、ベンチマーク規格の一つとして承認されています。



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2023年9月30日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株(注)

■発行済株式総数 31,121,520株(注)

■単元株式数 100株

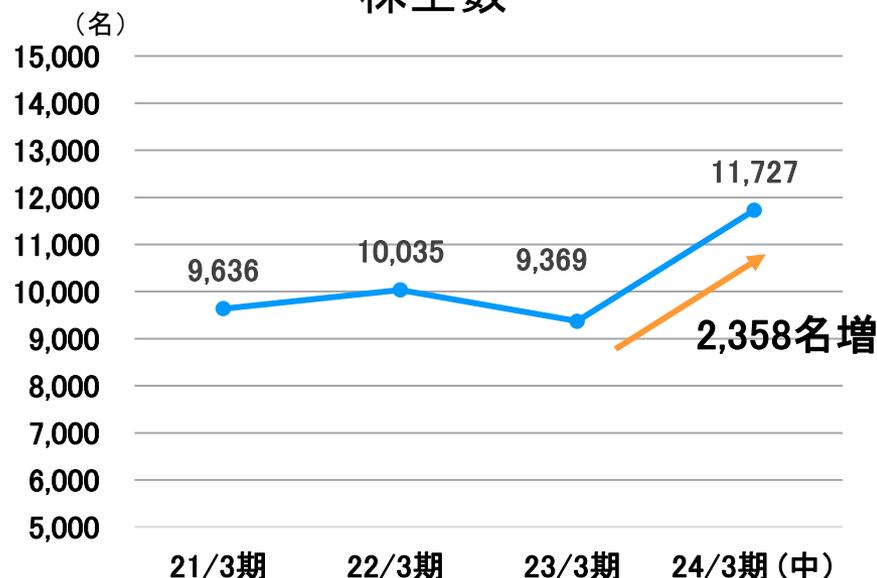
■株主数 11,727名(対前期末比 2,358名増)

(注)2023年10月1日付で株式分割を実施しており、発行可能株式総数は、456,000,000株、発行済株式総数は、155,607,600株となっております。

■大株主(上位5位)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,100,000	29.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,088,100	9.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,832,600	5.89
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
とりぎんリース株式会社	701,000	2.25

株主数



(注)出資比率は、自己株式2,414株を除く

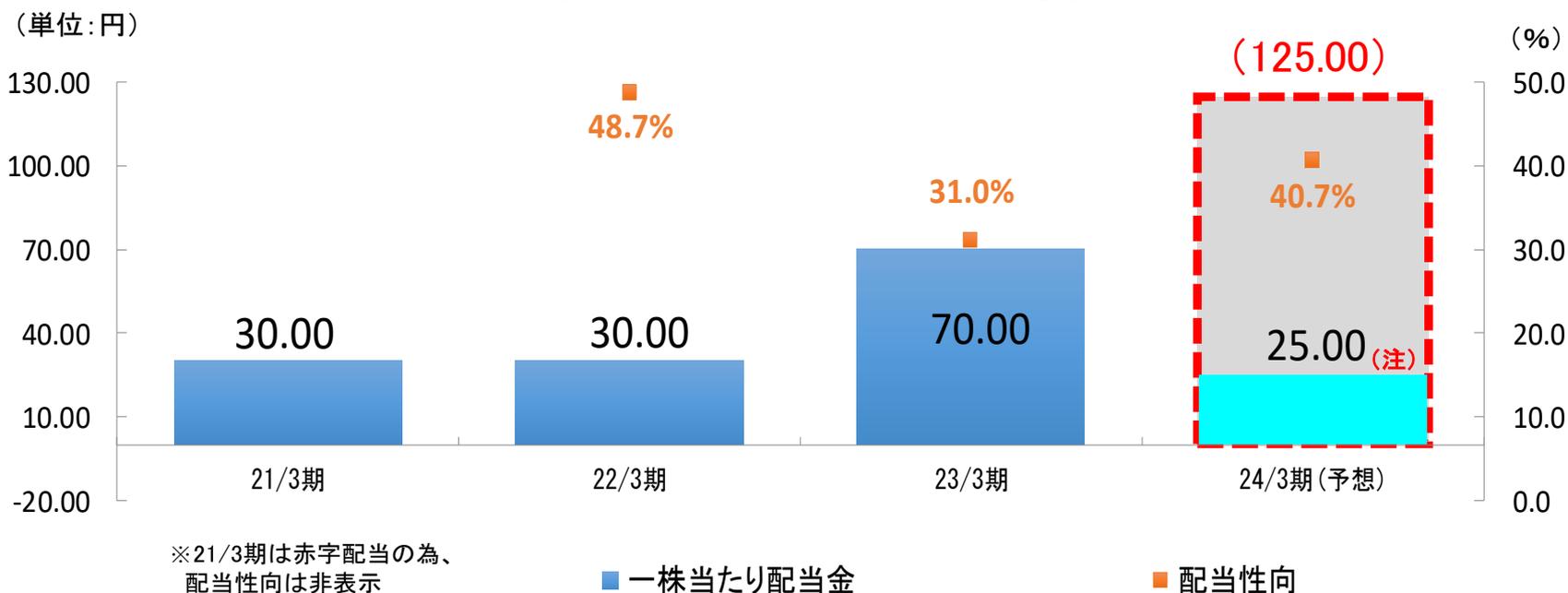
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2024年3月期1株当たり配当金予想 25円(注)

一株当たり配当金・配当性向推移



(注) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。24/3期の一株当たり配当金予想は分割後の発行済株式数より算出しており、分割前に換算すると予想配当額は、1株当たり125円となります。

株主優待制度について

株式分割に伴い、分割後の株主優待制度の見直しを図り、2024年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より変更後の制度を適用いたします。

現行		変更後	
ご所有株式数	内容	ご所有株式数	内容
100株以上 500株未満	2,000円相当のグループ製品	100株以上	3,000円相当のグループ製品
500株以上 1,000株未満	4,000円相当のグループ製品		
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 ＋ 3,000円相当の直営店舗利用券 (代替商品送付可)		



《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証プライム)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体8名・連結1,644名
グループ会社	連結子会社17社(国内16社・海外1社)
連結売上高	501億円(2023年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に **株式会社つきじちとせ**を設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に**株式会社ケイセイシイ**が『**小樽洋菓子舗ルタオ**』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、**株式会社九十九島グループ**スタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に**株式会社シュクレイ**を設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に**純藍株式会社**を設立。
- 2016年1月 (平成28年) **株式会社フランセ**の全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) **株式会社シュクレイ**が**株式会社フランセ**を吸収合併。
- 2022年4月 (令和4年) 東京証券取引所の市場区分見直しにより、プライム市場へ移行。



小樽洋菓子舗ルタオ



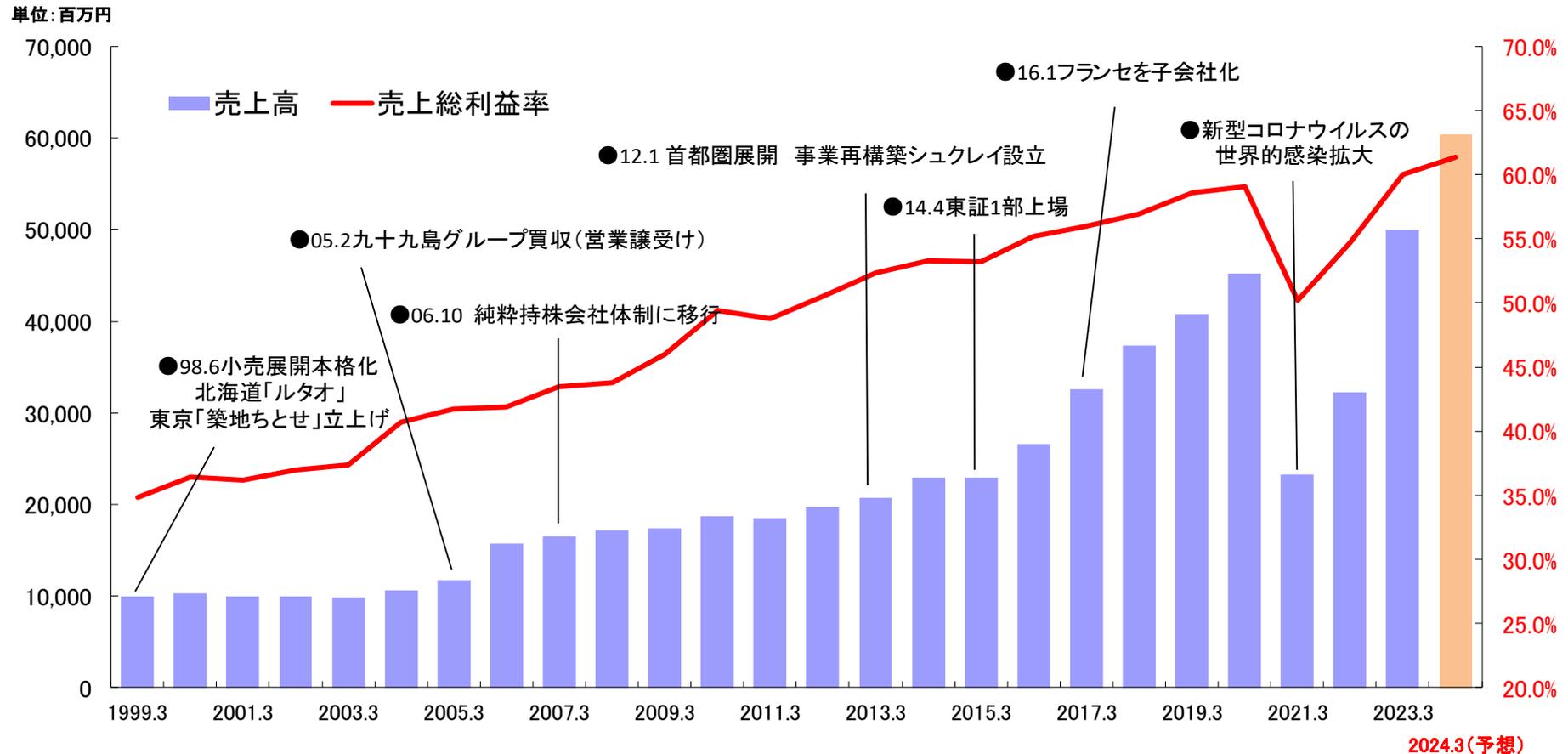
“九十九島せんぺい”



洋菓子のフランセ

寿スピリッツグループの変遷①

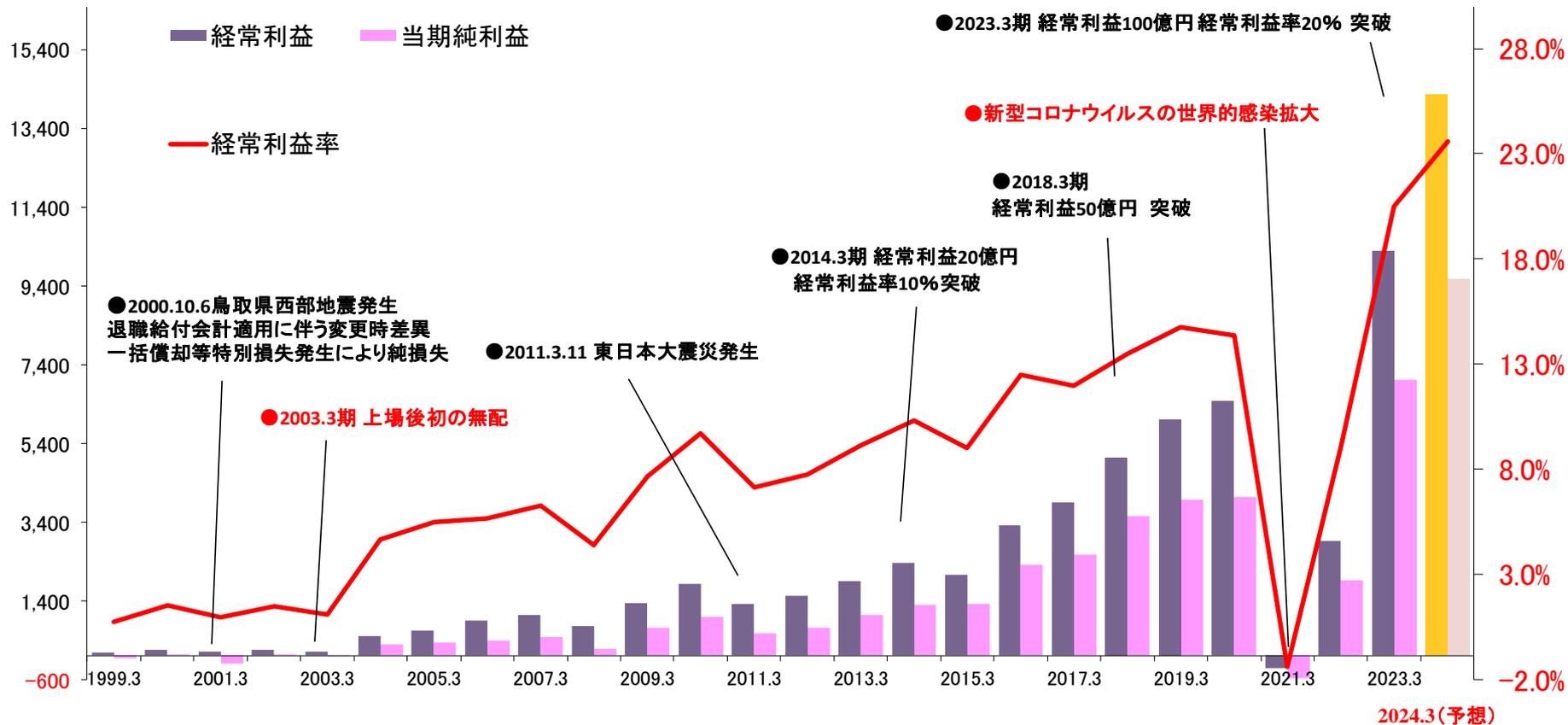
2023年3月期 売上高500億円、売上総利益率60%突破



寿スピリッツグループの変遷②

2023年3月期 経常利益100億円 経常利益率20%突破

単位：百万円



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

KÄNOZA
IZUMO

(山陰)



(北海道)



(福岡・東京)



(東京)



(東京)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



(東京)

主力商品一例

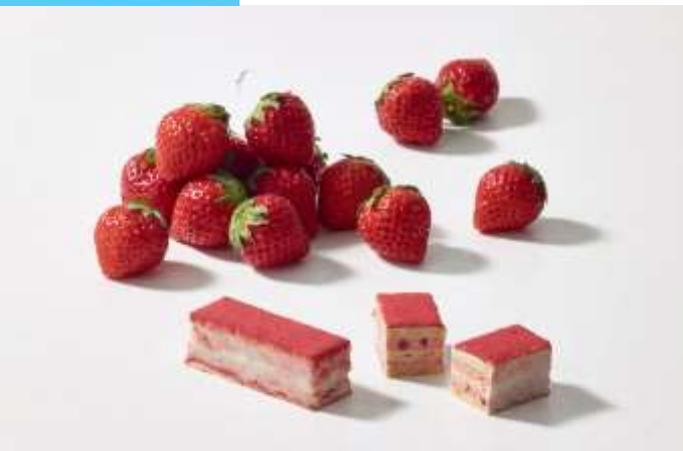


Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」  寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



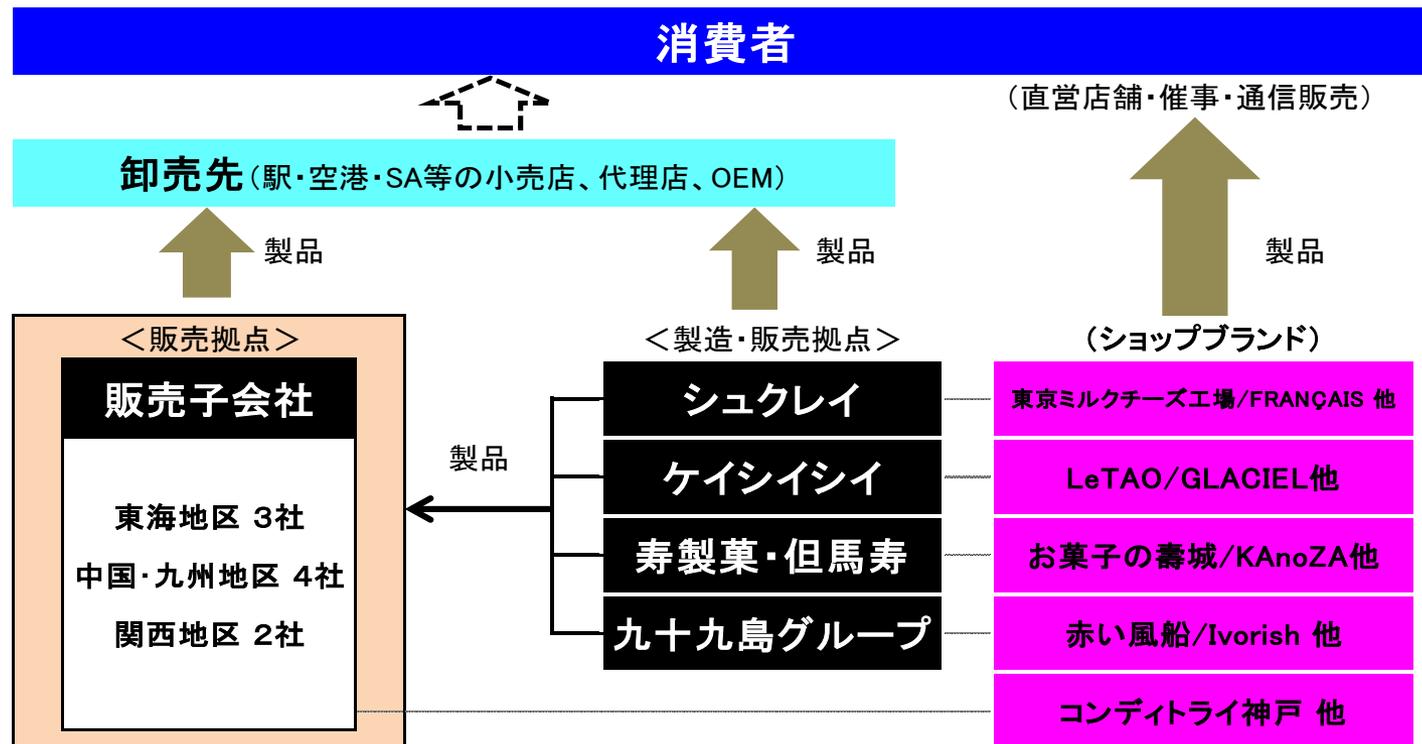
「九十九島せんぺい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社17社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。

グループ生産体制



本社工場



浦津工場



淀江工場(お菓子の壽城)



第1工場



第2工場



但馬工場



寿製菓

本社工場
浦津工場
淀江工場
但馬工場

※全工場でISO22000取得



ケイセイシー

第1工場 FSSC22000認証取得

第2工場 FSSC22000認証取得

(AIBフードセーフティー監査システム導入)



福岡工場



本社工場



福浦工場



浜松工場



黒髪工場



九十九島グループ

福岡工場
本社工場

黒髪工場 ※全工場でJICQA仕様-HACCPシステム認証取得



シュクレイ

横浜工場

浜松工場 ※全工場でFSSC22000認証取得





熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語です。



《寿製菓》

- 第50回がいな祭り 寿女万灯隊 おんな万灯の部 準優勝。個人戦では最優秀賞を受賞
2023年8月19日・20日米子の夏を象徴する“がいな祭り”の目玉である万灯パレードに出場
万灯女子の魅せる迫力の演技は、社内外の熱狂的ファン創りにつながった



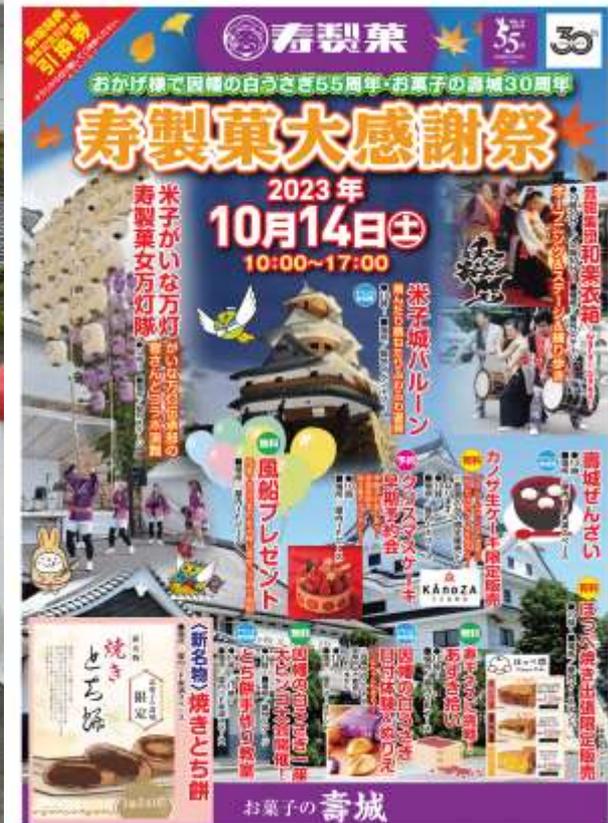


《寿製菓》

●寿製菓大感謝祭～おかげ様で因幡の白うさぎ55周年・お菓子の壽城30周年～

寿製菓は、2023年10月14日お菓子の壽城にて「寿製菓大感謝祭」を開催しました。

地元のお客様に向けた様々な催し物を用意し、多くのお客様にご来城いただきました。



《ケイシイシイ》



●小樽洋菓子舗ルタオ25周年

2023年6月に25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」は、記念菓「フロマージュ」を発売、また、25年分の感謝を込めて顧客やお取引先様を招いたイベントを開催。パトス店はリニューアルを行い50周年に向けて再出発しました。



顧客向け感謝祭の様子



お取引先様向け感謝祭の様子



感謝祭で提供したスイーツ



2023年4月1日
ルタオ パトス店 リニューアル

《ケイシイシイ》



●ケイシイシイが「大運動会in札幌ドーム」を開催

2023年8月30日、札幌ドームで大運動会を開催。総勢約300名が一堂に集まり、4チームに分かれて7つの競技プログラムを実施。全員が一つの目標に向かうことで一致団結しました。



《九十九島グループ》

●マイングNo.1“通”のお土産決定戦2023年 洋菓子部門にて5回連続1位を受賞

2023年9月、マイング“No.1”通のお土産決定戦2023年洋菓子部門にて、「赤い風船」の「フォンダンフロマージュ」が5年連続で1位を獲得。同様に「BUTTER&Bee」の「バターフィナンシェ」が3回目のエントリーで初の3位獲得となりました。

